# 取扱説明書

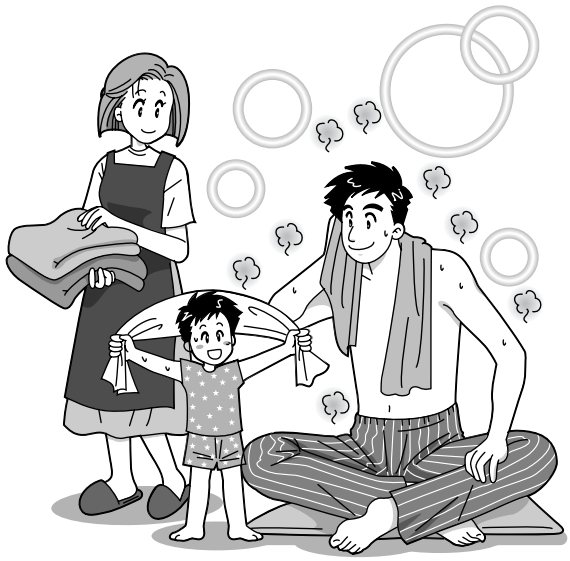
# 電気温水器

**深夜電力（8時間）／時間帯別電灯　通電制御型**

品番　MH-373MK **（タンク容量:370L）**

MH-463MK **（タンク容量:460L）**

**※リモコンは別売です。（品番:MHP-RC2）**



**この温水器は、申請によって通電制御型として電気料金の割引きが適用されます。適用を受けるため、必ず、据付工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談の上、申請を行なってください。（買い替え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。）**

- ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
- ●保証書、据付工事説明書（チェックリストが入っています。）は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
- ●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- ●試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行なってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
- ●この温水器を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書、保証書などを次の所有者の方へ渡してください。
- ●この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。
  また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

## もくじ

ページ


### ご使用の前に

安全のために**必ずお守りください** …… 2
ご使用にあたっての**お願い** …… 4
**特長** …… 5
**各部のなまえ**
- ●本体 …… 6
- ●リモコン …… 7

**準備** …… 8
- ●時刻を合わせる …… 9
- ●タンクのわき上げ湯温を設定する … 10

### 蛇口のお湯を使う

**たくさん お湯を使う**（わき増し）…… 11

### こんなとき

**数日間 温水器を止めたい**とき …… 12
**長期間 使用しない**とき …… 12
**凍結防止**をする …… 13
**停電した**とき …… 14
**定期点検**（有料）…… 14
**日常点検**と**お手入れ** …… 15
**故障かな？** …… 16
**仕様** …… 18
**アフターサービスについて**……裏表紙

# 安全のために必ずお守りください

●ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
●お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
据付工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。 |
| ⚠ 注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。 |

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| | 禁止 |
| | 分解禁止 |
| | 接触禁止 |

| | |
|---|---|
| | アース線接続 |
| | 指示にしたがう |

（本体表示）

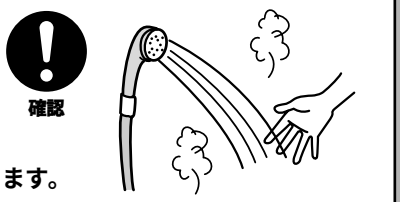
| | |
|---|---|
| | 感電注意 |
| | 高温注意 |
| | 発火注意 |

## ⚠ 警告

### やけどに注意

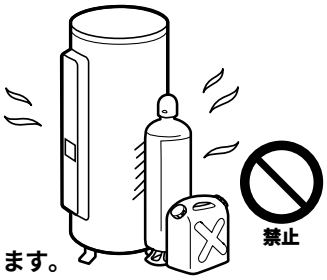
●給湯時は湯水混合栓に手を触れない
●排水時はお湯に手を触れない
●逃し弁点検時は配管に手を触れない

### 入浴するときやシャワー使用時、台所や洗面所でお湯を使うときは、湯温を指先等で確認する




湯温を確認せずに浴槽につかったり、シャワーを浴びると、やけどをすることがあります。

### 近くにガス類や引火物を置かない

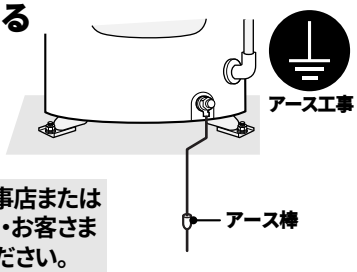



発火・火災になることがあります。

### 前面カバーを開けない（→6ページ）

開けると、感電することがあります。

### アース工事を確認する

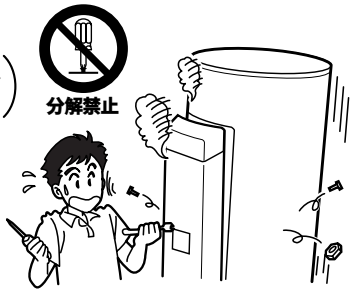



工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付工事店または「三洋電機　修理相談窓口・お客さまご相談窓口」へお問合せください。

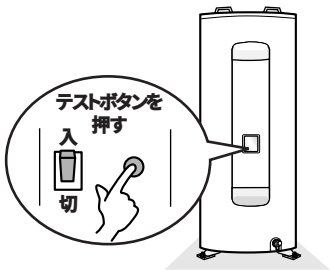
### 改造をしない

（修理技術者以外の人は分解・修理をしない）




発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

### 漏電遮断器の動作を確認する（→15ページ）




故障のまま使用すると、感電することがあります。

### 異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器のレバー（→6ページ）を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三洋電機　修理相談窓口・お客さまご相談窓口」へ連絡する

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

# ⚠注意

## そのまま飲用しない

禁止

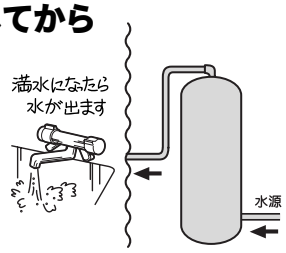
長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。

## 通電はタンクを満水にしてから行う（→8ページ）

満水確認

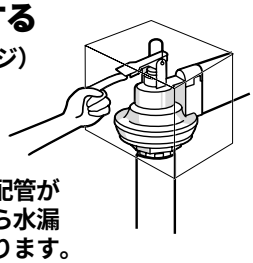
タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。




## 逃し弁の点検をする（→15ページ）

点検

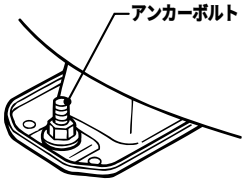
点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



## 脚（3カ所）がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認

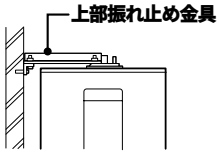
固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。




## ２階以上に据付けた場合、上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する

確認

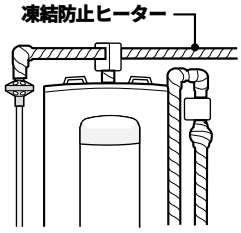
固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。




## 凍結防止対策の確認をする（→13ページ）

確認

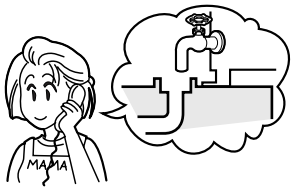
凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。




## 床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

確認

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。




## タンクの熱湯を直接排水しない（→12ページ）

禁止

やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

## 1カ月以上使用しないときは、漏電遮断器のレバー（→6ページ）を下げて電源を「切」にし、タンクの排水をする

電源確認

排水しないと水質が変化することがあります。

## 操作カバーは閉じる（→6ページ）

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

# ご使用にあたってのお願い

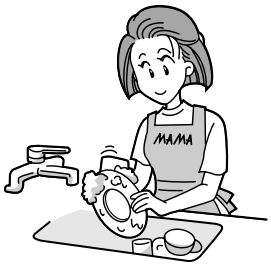
使用にあたっては、以下のことをお守りください。

## お湯を上手に使う

**1日に使用できるお湯の量は限りがあります。**

- **シャワーは止めながら**
  （髪を洗っているときは止めましょう。）

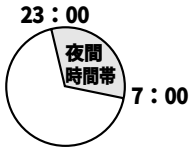
- **洗いものをするときも止めながら**




**流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。**

## 夜間時間帯の入浴について

この温水器は、夜間時間帯（本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているとき※）にお湯をわかしますので、この時間にはなるべく入浴しないようにしてください。夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなったり、お湯がたりなくなったりする場合があります。

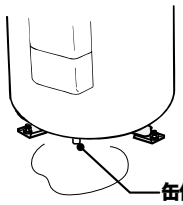



**夜間時間帯は、地域によって異なります。**

**※リモコン（別売）をご利用の場合は、リモコンの表示部に「通電中」が表示されているときのことをいいます。**

## 万一の故障時には

本体や缶体保護弁排水口から水が排出された場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。




## 〈リモコン（別売）をご利用のお客さま〉

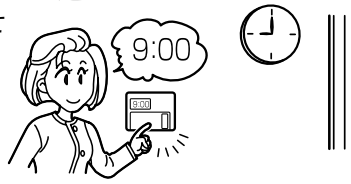
## 契約している電力制度を確認する

契約している電力制度によって一部ご利用いただけない機能※があります。（→5ページ）
ご契約の電力制度を据付工事店（販売店）にご確認ください。

**※深夜電力制度でご契約のお客さまは、わき増し機能（→11ページ）をご利用できません。**

## リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、時刻を合わせ直してください。
（→9ページ）



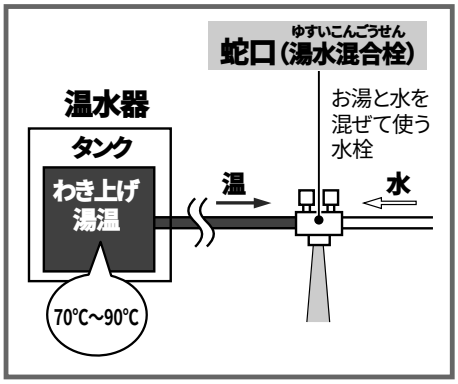

**時間帯別電灯料金制度を使用されている場合**

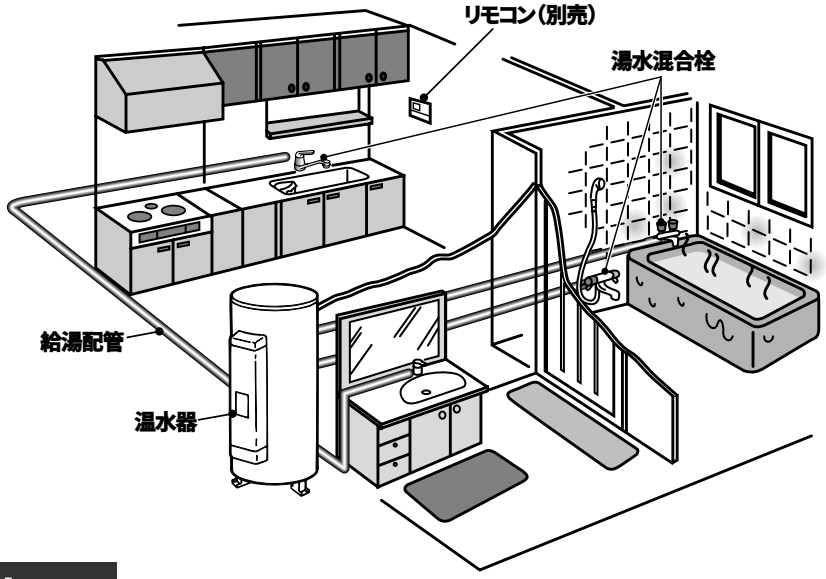
**時刻がずれていると、タンク内をわき上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割増になります。**

# 特長

## 温水器のしくみ

温水器でわき上げたお湯は、配管を通って家の中の蛇口（台所、洗面所、シャワーなど）にきます。水と混ぜて（湯水混合栓で混ぜる）お好みの温度で使用してください。



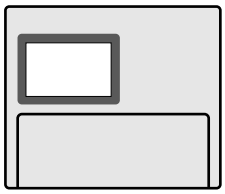

**お知らせ**

- 蛇口から出るお湯は、配管材の放熱によってタンクのわき上げ湯温より低くなることがあります。

## 別売のリモコンを使う

この電気温水器は、別売のリモコンを接続することで**「わき増し」**※ や**「残湯量表示」**などの機能が使えるようになります。

※この機能を利用するためには、ご契約の電力制度を「時間帯別電灯」にする必要があります。（下表）



**別売リモコン**
**〈品番：MHP-RC2〉**

**リモコンを接続すると使える機能**

- **■残湯量が確認できます。**（→7ページ）
- **■時計機能が付いています。**（→9ページ）
- **■わき上げ湯温の設定が3段階になります。**（→10ページ）
- **■昼間に「わき増し」ができます。**（→11ページ）
- **■数日間、温水器のわき上げを停止できます。**（→12ページ）
- **■故障診断ができます。**（→17ページ）

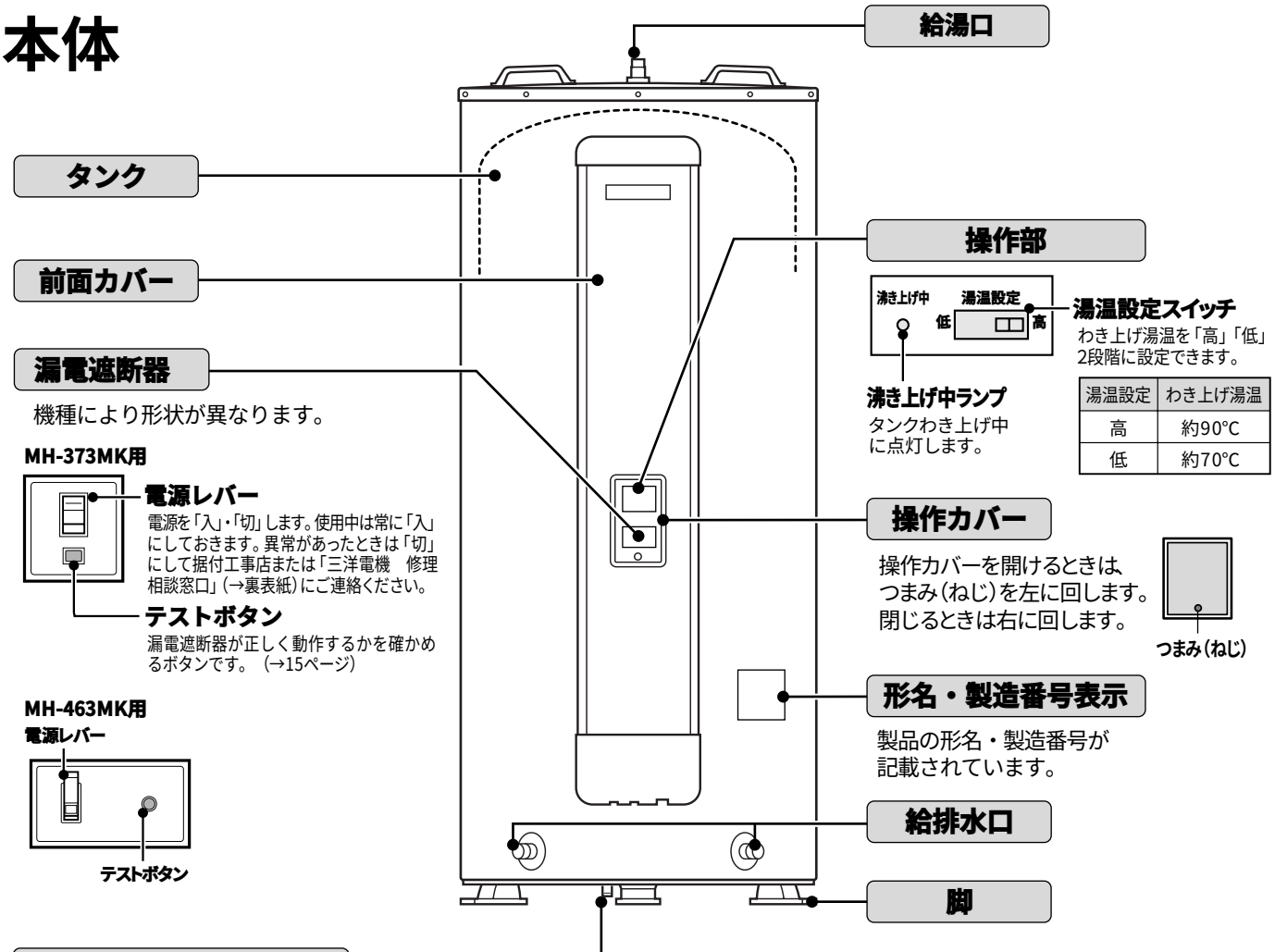
**契約している電力制度と使える機能**

| 機能 / 電力制度 | わき上げ 夜間時間帯にわき上げる（昼はわかせません。） | わき増し お湯が減ったら自動的に追加でわかす（昼もわかせます。） | 契約の概要 |
|---|---|---|---|
| 時間帯別電灯 | ○ | ○ | 家庭の電気製品すべてに対して 夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金、昼間時間帯（7:00～23:00）は通常の10%～30%程度の割増料金※が適用されます。 ※割増の程度は、電力会社により異なります。 |
| 深夜電力 | ○ | × | 電気温水器のみ、 夜間時間帯（23:00～7:00）は通常の1/3以下の割引き料金が適用されます。（昼間時間帯は通電されません。）電気温水器以外の電気製品は、通常の料金が適用されます。 |

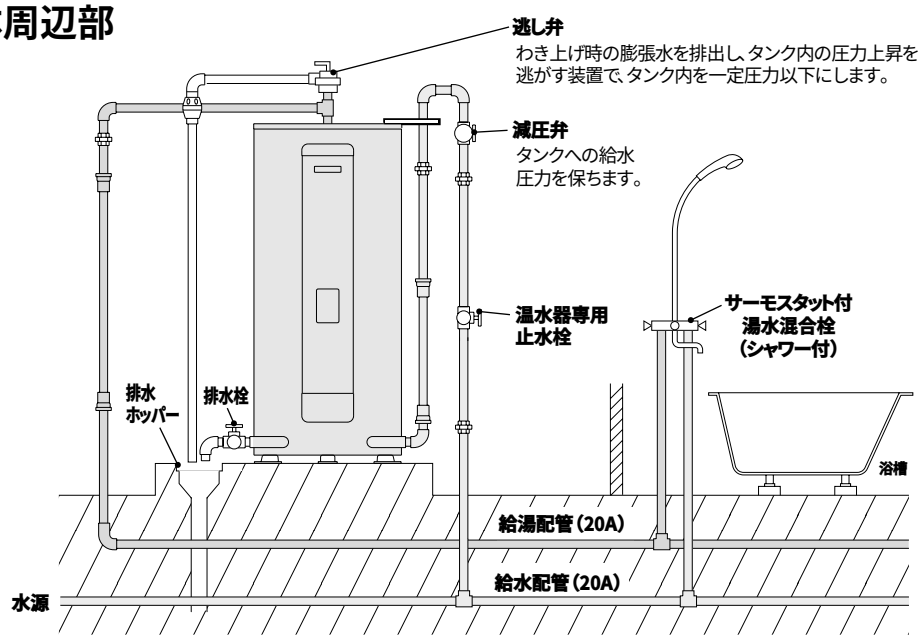
- **時間帯別電灯で使用する場合は、別売のリモコン（品番：MHP-RC2）が必要です。**
- **昼間時間帯、夜間時間帯は電力会社などにより異なります。**
- **上記以外の電力制度については、電力会社または当社ご相談窓口（→裏表紙）へお問合わせください。**

# 各部のなまえ（本体・リモコン）

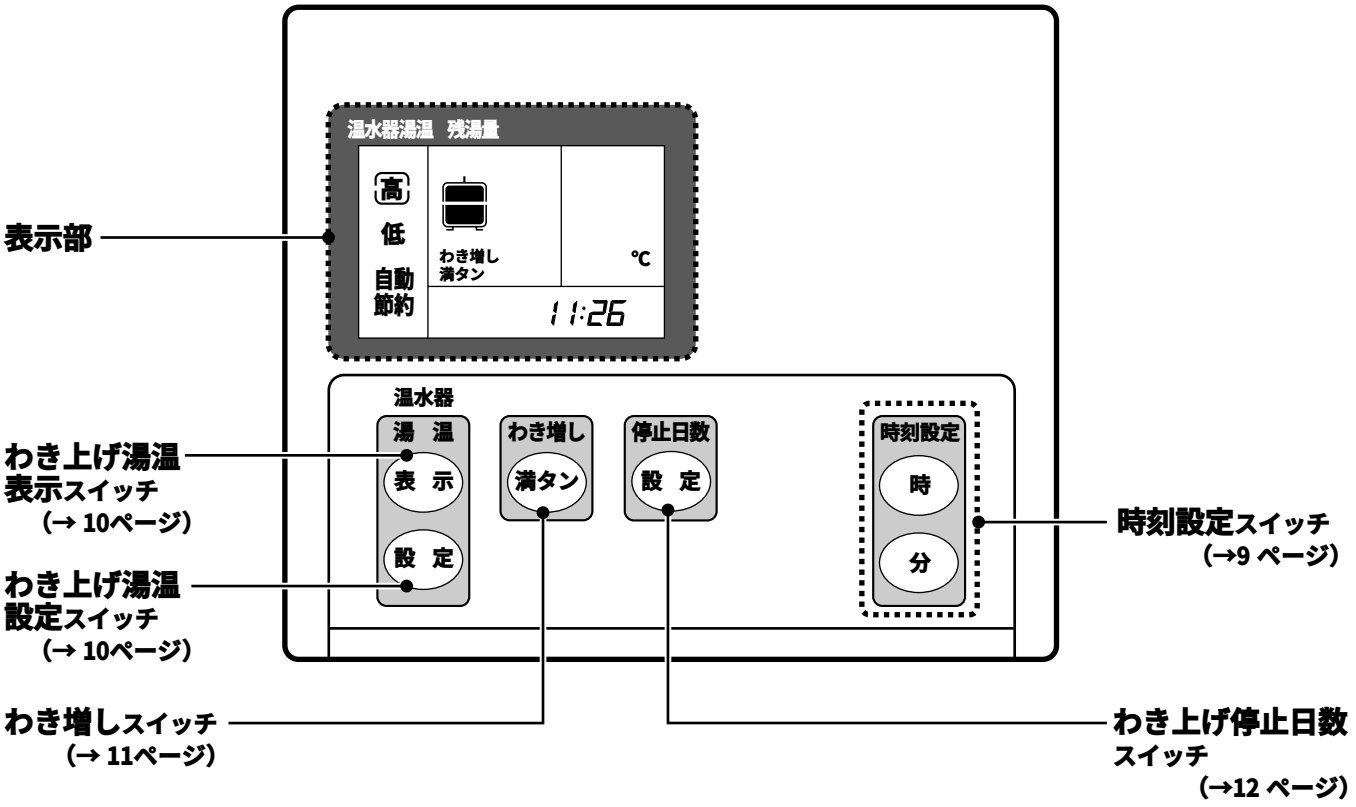
## 本体



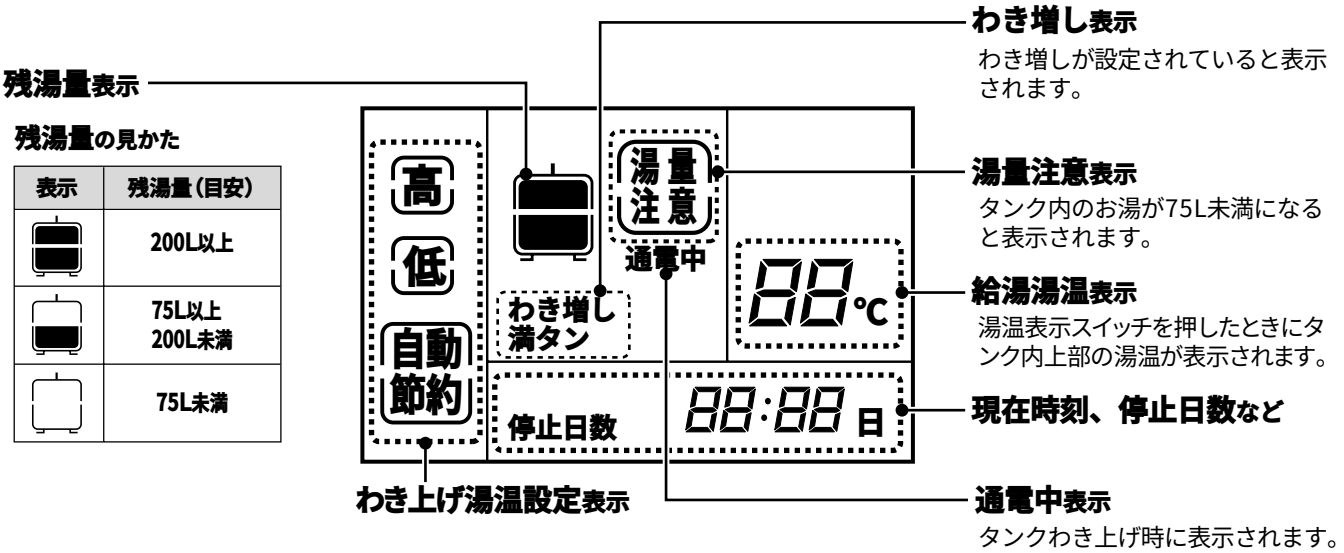

## 本体周辺部



# リモコン 別売（形名:MHP-RC2）




## 表示部（説明のため、画面はすべてを表示した状態にしてあります。）




**残湯量の見かた**

| 表示 | 残湯量（目安） |
|---|---|
|  | 200L以上 |
|  | 75L以上 200L未満 |
|  | 75L未満 |

**お願い** リモコンは、防水タイプではありません。
水をかけないでください。故障の原因になります。

**お知らせ** 表示部のバックライトの点灯は、スイッチを押してから約1分間です。

# 準備

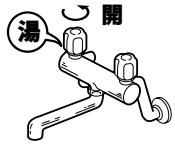
使い始めは、次の手順で操作します。

## 1.温水器のタンクを満水にする

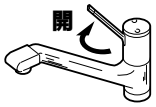
**①タンク内の空気を抜くために、家の中の蛇口（湯水混合栓のお湯側）を開く（１カ所）**

操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。

**2バルブタイプ**
**お湯側（給湯つまみ）を開く**




**シングルレバータイプ**
**お湯側にレバーを回して上げる（下げる）**

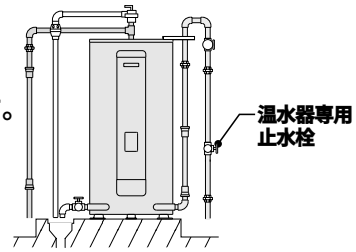



**サーモスタットタイプ**
**湯温調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く**

**②温水器専用 止水栓を開いてタンクに水を入れる**

**タンクが満水になると蛇口から水がでます。満水までの目安は約30分です。**

**（配管や水源水圧によって多少異なります。）**



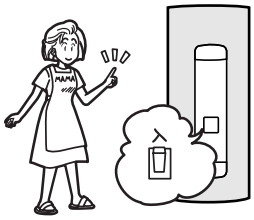

**③満水になったら、①で開いた蛇口を閉じる**

**（温水器専用止水栓は、閉じないでください。）**

## 2.電源を入れる

**①電源ブレーカーを「入」にする**
**（または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする）**

**②漏電遮断器の電源レバーを「入」にする**（→6ページ）



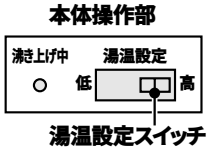
**⚠ 注意**

**通電はタンクを満水にしてから行う**

## 3.タンクのわき上げ湯温設定をする

わき上げ湯温は、本体の操作部で設定します。

**①本体の操作部でタンクのわき上げ湯温を設定する**（→10ページ）



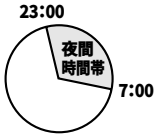

**リモコン（別売）をご利用のお客さま**

リモコン（別売）をご利用の場合はリモコンで設定します。
（必ず**「①時刻を合わせる」**を行なってください。）

**①時刻を合わせる**（→9ページ）

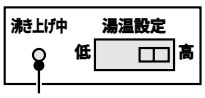
**②タンクのわき上げ湯温を設定する**（→10ページ）

**夜間時間帯**（→4ページ）**にお湯をわき上げます。**




**夜間時間帯は、地域によって異なります。**

**わき上げ中は、本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯します。**



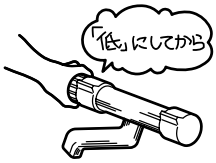

**リモコンをご使用の場合、わき上げ中は、リモコンに「通電中」が表示されます。**

**お知らせ** **時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。**

## 4.お湯を使う

**お湯は翌朝から使用できます。**

**やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。**




**⚠ 警告**

**使いはじめは、やけどに注意する**

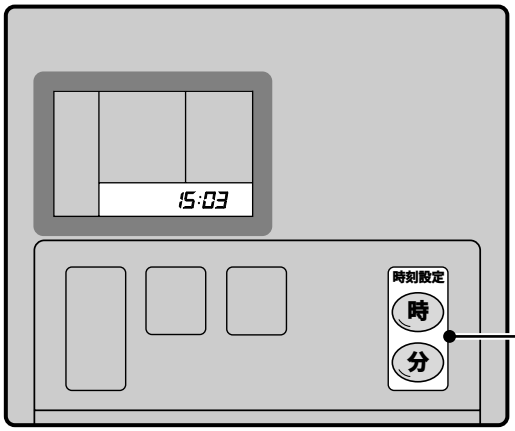
**特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。**

# 時刻を合わせる

**リモコン（別売）をご利用のお客さま**

温水器を使うためには、まず時刻を合わせてください。
**時刻を設定しないと、「わき上げできない」場合があります。**
**また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。**

**リモコン**




必要な箇所を表示してあります。

## 1 同時に３秒以上押す

**表示部**

お買いあげ時（初期通電時）や２時間以上の停電後は、「００：００」が点滅しますので手順２から始めてください。

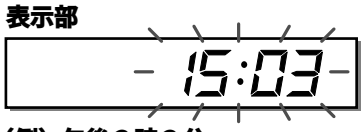
## 2 表示部が点滅中に 時 分 を押して時刻を合わせる

**時** を押すと**１時間**ずつ、表示部の数字が進みます。

**分** を押すと**１分間**ずつ、表示部の数字が進みます。

スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。

**表示部**




**（例）午後３時３分**

**約10秒間経過すると時刻が点灯して時刻設定が完了します。**

**表示部**

**お願い**

- 時計の時刻は温度変化や停電などにより若干変動します。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。また、２～３カ月に一度は時刻が合っているかご確認ください。

- 約２時間以上の停電があった場合や長時間電源を「切」にしていた場合、表示部は「００：００」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。わき上げできない場合があります。（→14ページ）

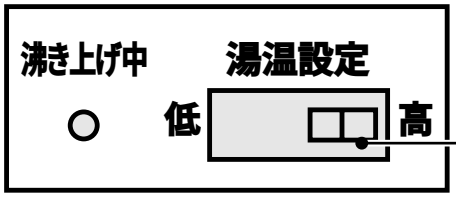
**お知らせ**

- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12：00」を、夜の12時の場合は「0：00」を表示します。

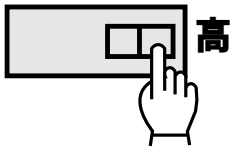
# タンクのわき上げ湯温を設定する

**温水器を使うためには、タンクのわき上げ湯温を設定してください。**
**通常は（使いはじめは必ず）、湯切れ防止のため「高」に設定してご使用ください。**
お湯の使用量が少ない場合は、省エネのために「低」または「自動節約」（リモコン使用時）にしてください。

**本体の操作部**




**1** 湯温設定




**湯温設定スイッチをスライドさせる**

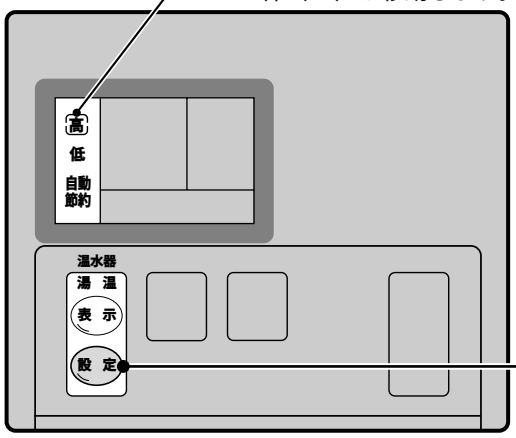
| お買上げ時の設定 …高 |
|---|
| 設定できる温度 …高／低 |

| わき上げ湯温設定 | わき上げ湯温（目安） | 長所・短所 |
|---|---|---|
| 高 | 約 90℃ | ●最高の湯温でわき上げるのでお湯をたくさん使えます。 |
| 低 | 約 70℃ | ●余分にわき上げないので省エネ効果があります。<br>●湯切れの心配があります。 |

## リモコン（別売）をご利用のお客さま

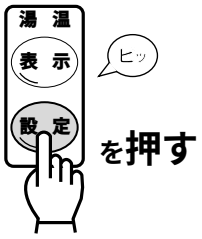
**本体の設定よりもリモコンの設定が優先されます。**

**リモコン**

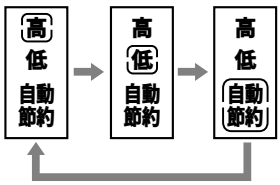



必要な箇所を表示してあります。

**1**




**押すごとに、タンクのわき上げ湯温設定表示が切り換わります。**




| お買上げ時の設定 …高 |
|---|
| 設定できる温度 …高／低／自動節約 |

| わき上げ湯温設定表示 | わき上げ湯温（目安） | 長所・短所 |
|---|---|---|
| 高 | 約 90℃ | ●最高の湯温でわき上げるのでお湯をたくさん使えます。 |
| 低 | 約 70℃ | ●余分にわき上げないので省エネ効果があります。<br>●湯切れの心配があります。 |
| 自動節約 | 冬期…約 80～90℃<br>春秋期…約 75～90℃<br>夏期…約 70～90℃ | ●効率よくわき上げるので省エネ効果があります。 |

**お願い** ●わき上げ湯温を「低」または「自動節約」で設定している場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、**前日に、「高」に設定してください。**

**お知らせ** ●「自動節約」では、過去1週間の使用湯量と給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約70℃～約90℃の範囲でわき上げ湯温を決定し、ムダなく効率的にわき上げます。

## タンクのわき上げ湯温を表示する

温水器のタンク内上部の湯温を表示します。

**表示部**

**約10秒間表示後、給湯湯温を表示します。**

**お知らせ** ●タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、設定湯温よりも低く表示されることがあります。（通常、湯温の低下は、1時間に約0.5℃～1℃程度ですが、寒冷地ではそれ以上低下します。）

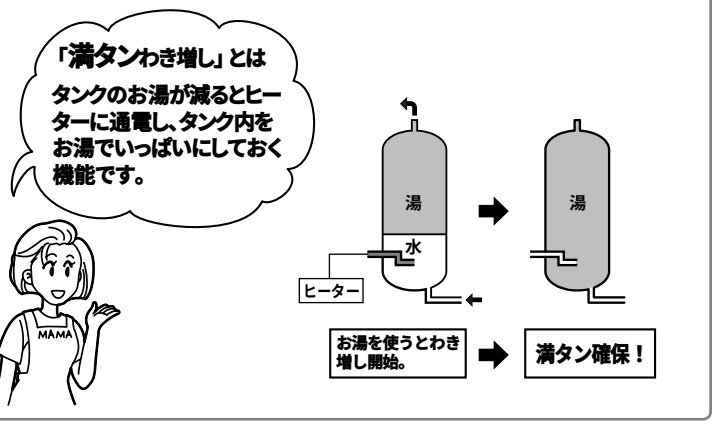
「時間帯別電灯」でご契約のお客さま（→5ページ）

# たくさん お湯を使う（わき増し）

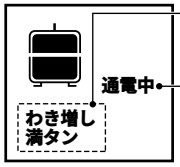
**リモコン（別売）をご利用のお客さま**

「わき増し」とは、お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
来客などでいつもよりたくさんのお湯が必要なときなどに使用してください。
**（「時間帯別電灯」でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。）**

## 満タンわき増しのしくみ

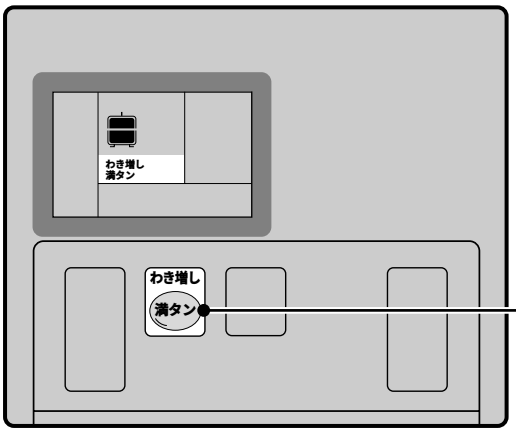



### わき増し使用時の表示部




**①わき増しを設定すると表示されます。**
**②お湯が減り、ヒーターに通電されると表示されます。**

### リモコン




必要な箇所を表示してあります。

## 〈満タンわき増し〉

設定した、その日（7：00～23：00）は何回でもタンク全体のわき増しを行います。（23時になると自動的に解除されます。）

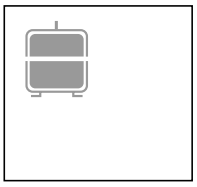
**1** わき増し 満タン（ヒッ）**を押す**

（解除するときは、もう一度 満タン を押す）

**表示部（設定時）**

「わき増し」「満タン」が点灯

**表示部（解除時）**



「わき増し」「満タン」が消灯

**お買上げ時の設定 …満タンわき増し　解除**

**お知らせ**

- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割増になります。（→5ページ）
- わき増しの場合も、10ページで設定した湯温にわき上げます。

# 数日間 温水器を止めたいとき

**リモコン（別売）をご利用のお客さま**

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、温水器のわき上げを停止させることができます。

## わき上げ停止日数の決めかた

**例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合**

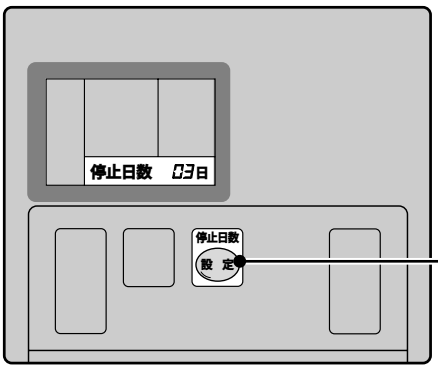
**出発日（10月1日）に停止日数「03」を設定**（1日、2日、3日の昼間の使用を止めるため）
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

**〈予定日より早く帰宅した場合〉**
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。
「時間帯別電灯」でご契約のお客さまは、わき増し（→11ページ）を使用してください。

**お知らせ**

- 連続停止（——）を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 停止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。（連続停止（——）が表示されているときは除く。）

**リモコン**




必要な箇所を表示してあります。

**1** 停止日数 設定 を押す

（設定する日数が表示されるまで押します。）

**表示部**

停止日数 03日

**設定** を押すごとに表示部の停止日数が進みます。

スイッチを押し続けると、連続して進みます。

**取り消すときは「現在時刻表示」にします。**

2日 → 3日 … → 14 → 15 → －－ → 現在時刻表示（連続停止）

| お買上げ時の設定 …なし |
|---|
| 設定できる範囲 …2日～15日／連続停止 |

**1カ月以上使用しない場合は、以下の方法で停止してください。**

**解除するとき**

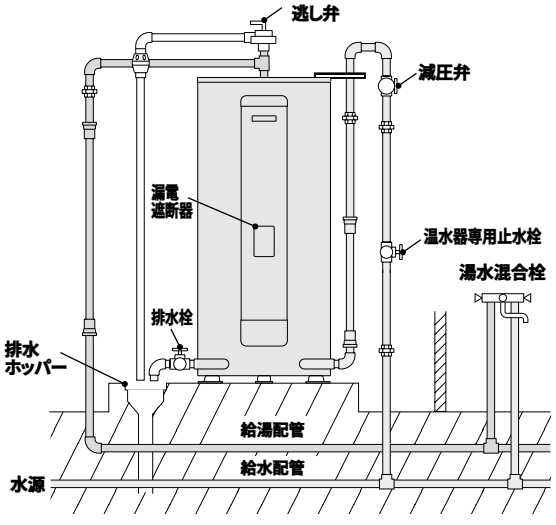
**「現在時刻表示」になるまで、停止日数スイッチを押す**

# 長期間 使用しないとき

1カ月以上、温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

**⚠ 注意**

- **1カ月以上使用しないときは、タンクの水を抜く（水質変化の原因）**
- **タンクの熱湯を直接排水しない（やけど、排水管などの破損の原因）**




**1 電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする**

電気の供給を停止します。（あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。）

**2 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す**

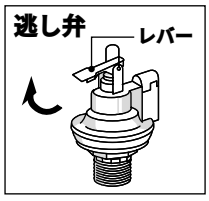
**お願い** ●お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。

**3 温水器専用止水栓を閉じる**

温水器（タンク）への給水を止めます。

**4 逃し弁のレバーを上げる〈図〉**

タンクへ空気を取り入れます。




**5 排水栓を開く**

**タンクの水（お湯）を抜きます。**

排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

**⚠ 警告**

**排水時は、やけどに注意する**

**お願い** ●排水が終ったら、排水栓を閉じてください。

**再び使用するとき**

逃し弁のレバーを下げ、排水栓が閉じていることを確認してから準備（→8ページ）の手順を行なってください。

# 凍結防止をする

冬季は本体周囲温度が０℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがありますので、凍結防止対策が必要です。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）

凍結防止対策として「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」「水抜きによる方法」などがあります。どの方法で施工されたのか据付工事店へ確認してください。また、お客さまが行う具体的な操作方法についても確認し、凍結防止の操作を行なってください。

**⚠注意**

**凍結防止対策の確認をする**
**凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。**

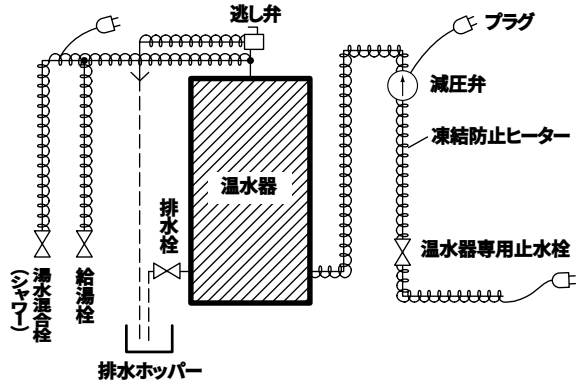
**お願い**

- 配管が凍結した場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

## 凍結防止ヒーターによる方法

**凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。**

**凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。**




## 少量の水を流し続ける方法

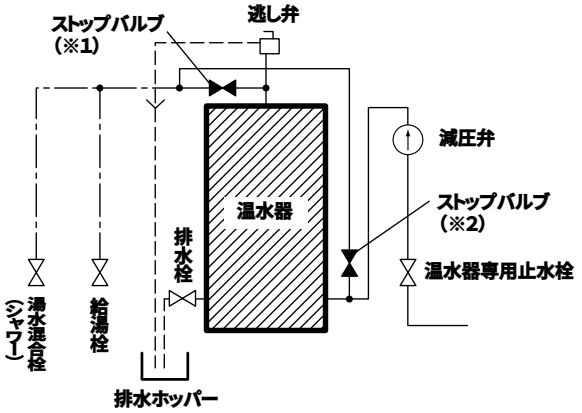
**〈凍結防止の間、お湯は使用できません。〉**

**〈夜 お湯を使わなくなったら〉**

**①ストップバルブ（※1）を閉じ、ストップバルブ（※2）を開く**
**②各給湯栓、湯水混合栓を少し開けて、糸引き状態に水を流す**

**〈翌朝使用するとき〉**

**①各給湯栓、湯水混合栓を閉じる**
**②ストップバルブ（※2）を閉じ、ストップバルブ（※1）を開く**




## 水抜きによる方法

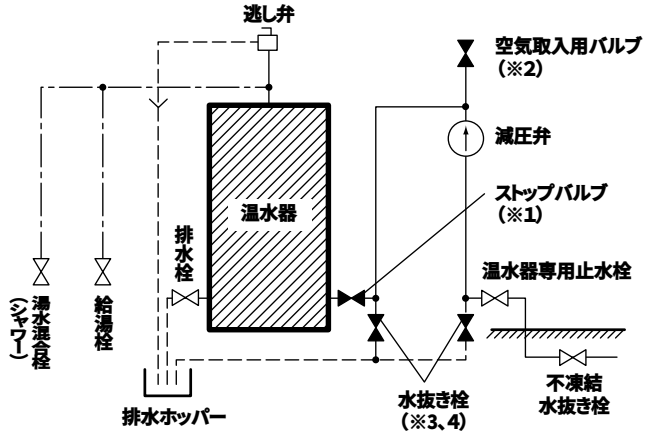
**〈凍結防止の間、お湯は使用できません。〉**

**〈夜 お湯を使わなくなったら〉**

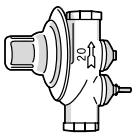
**①温水器専用止水栓と不凍結水抜き栓を閉じる**
**②ストップバルブ（※1）を閉じ、空気取入用バルブ（※2）を開き水抜き栓（※3、4）を開く**
**③逃し弁のレバーを上げ、湯水混合栓、給湯栓を開く**
**④排水栓を開き、15～20L程度（約2分間）排水する（排水が終わったら排水栓を閉じてください。）**

**〈翌朝使用するとき〉**

**①逃し弁のレバーを下げる**
**②空気取入用バルブ（※2）と水抜き栓（※3、4）を閉じる**
**③不凍結水抜き栓、温水器専用止水栓とを開きストップバルブ（※1）を開く**
**④湯水混合栓、給湯栓を閉じる**




**減圧弁**



# 停電したとき

この温水器は、約2時間のメモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば、お客さまが設定した「時刻」や「わき上げ湯温」などは失われずにすみます。
ただし、長時間の停電の場合は、初期設定に戻りますので次の処置をしてください。

## 長時間停電すると（約2時間以上）

**リモコン（別売）をご利用のお客さま**

| 機能 | 初期設定に戻る | 処　置 |
|---|---|---|
| 時刻 | 「00：00」の点滅 | **必ず時刻を合わせ直してください。**<br>時刻を合わせないと、「わき上げできない」場合があります。また、正しい時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。 |
| わき上げ湯温 | 「高」 | ご利用のわき上げ湯温に設定し直してください。 |
| 満タンわき増し | 解除 | 満タンわき増しを使用するときは、再度、設定し直してください。 |
| 停止日数 | 解除 | 再度、設定し直してください。 |

**お知らせ** ●**時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。**

## 温水器のわき上げ

### 夜間時間帯に停電が発生した場合

●短時間の場合、停電終了後すぐに、温水器（ヒーター）に通電され、わき上げを行います。

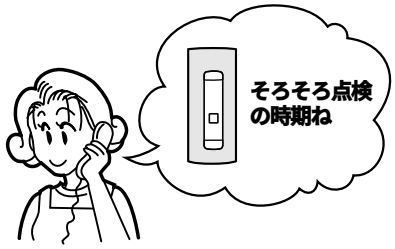
●2時間以上続いた場合は、停電終了後、温水器の湯温設定が「高」になりわき上げをはじめます**（リモコン無しの場合は、設定された湯温で**わき上げをはじめます**）**が、時間がたりなくて**設定したわき上げ湯温までわき上がらない場合があります。**

# 定期点検（有料）

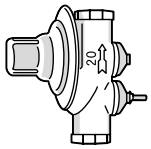
電気温水器を少しでも長くお使いいただくために、**3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。**
定期点検については、据付工事店（販売店）または「三洋電機　お客さまご相談窓口」（→裏表紙）へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

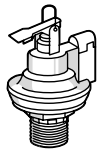
## 定期点検の主な内容

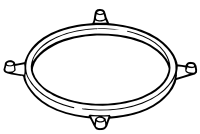
| 項　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 据付け状態 | 設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認 |
| 機能部品 | 電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検および消耗部品の交換 |
| 清　　掃 | タンク内の清掃（沈殿物の除去など） |




## 消耗部品　以下の部品は消耗部品です。


減圧弁


逃し弁


ヒーターパッキン

**お願い** ●減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキンの交換時は、当社純正部品をご指定ください。

# 日常点検とお手入れ

## 日常のお手入れ：本体、リモコンのお手入れ

本体やリモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

**お願い**

- ベンジンやシンナーなどの化学薬品やアルコールは、使用しないでください。変形や変色の原因になります。

## 1年に2〜3回程度：漏電遮断器の動作点検

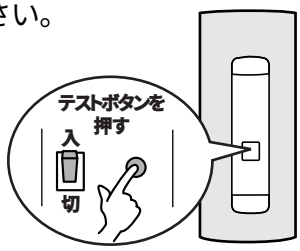
漏電遮断器の点検は、200Ｖ電源供給中に行なってください。

- 時間帯別電灯でご契約の場合…いつでも点検できます。
- 深夜電力でご契約の場合…夜間時間帯に点検を行なってください。

**①テストボタンを押す**

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

**②必ず電源レバーを「入」に戻す**




**⚠ 警告**

**漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）**

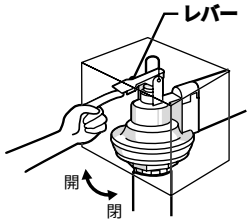
## 1年に2〜3回程度：逃し弁の点検（各部のなまえ：→ 6ページ）

動作点検と水漏れ点検を行います。

**動作点検… レバーを上げ、水（お湯）が排水ホッパーへ出ることを確認する**

**水（お湯）が出れば正常です。**水（お湯）が出ない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店ご連絡ください。

**動作確認後は必ずレバーを下げてください。**




**水漏れ点検… わき上げをしていないとき（本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯していないとき※）、排水ホッパーから水（お湯）が出ていないかを確認する**

**※リモコン（別売）をご利用の場合は、リモコンの表示部に「通電中」が表示されていないときのことをいいます。**

**水（お湯）が出ていなければ正常です。**水（お湯）が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。

**⚠ 警告**

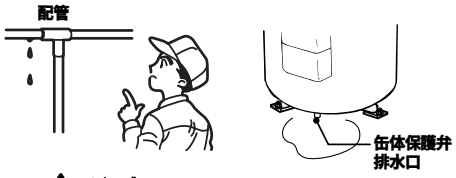
**点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）**

**⚠ 注意**

**逃し弁の点検をする**
**タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。**

## 1年に2〜3回程度：配管、缶体保護弁排水口からの漏水点検

配管の保温材破損や配管からの水漏れと、缶体保護弁排水口から水が排出されていないかを点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。




**お願い**

- 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

**⚠ 注意**

**配管を点検する**
**マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。**

## 1年に2〜3回程度：タンクのお手入れ

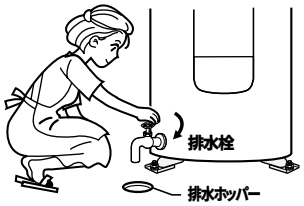
**①排水栓を約１〜２分間開く**

タンクの下部にたまった汚れを排水します。

排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

**②汚れがなくなったら排水栓を閉じる**

汚れが多い場合は、数回繰り返します。

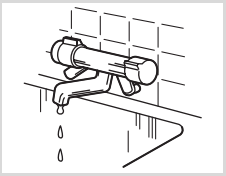



**⚠ 警告**

**排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）**

# 故障かな？

## 故障かな？と思ったら

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| お湯が出ない<br>お湯の出が悪い<br>  | 温水器専用止水栓が閉じている | 閉じていれば開いてください。 |
| | 断水している（蛇口から水がでますか？） | 断水が終るまで待ってください。 |
| | 凍結防止をしている | 「水抜きによる方法」、「少量の水を流し続ける方法」で凍結防止をしている場合はお湯を使用できません。（→13ページ） |
| | 配管が凍結している | 凍結していた場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| お湯がわかない<br>お湯が足りない<br> | 電源ブレーカーが「切」になっている | 「切」になっている場合は、「入」にしてください。 |
| | 漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている | 「切」になっている場合は、「入」にしてください。<br>2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| | わき上げ湯温設定が低い | 「低」の場合は「高」へ設定を変えてください。 |
| | 本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯していないときに、逃し弁の排水口から、お湯（水）が出ている | 逃し弁の点検を行なってください。（→15ページ）<br>逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| | 本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているときに、お湯をたくさん使用した（特に夜間時間帯） | 翌日まで待ってください。 |
| | いつもに比べてお湯をたくさん使用した | 翌日まで待ってください。<br>翌日の使用湯量が多くなると予測できるときは、あらかじめわき上げ湯温の設定を上げてください。 |
| リモコンをご利用のお客さま | リモコンの時刻表示部が点滅している | 時刻を設定してください。（→9ページ） |
| | リモコンの停止日数が表示されている | 停止日数を解除して、わき増しを利用してください。 |
| | リモコンに「通電中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から、お湯（水）が出ている | 逃し弁の点検を行なってください。（→15ページ）<br>逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| | いつもに比べてお湯をたくさん使用した | わき増し（→11ページ）を利用してください。 |
| 本体の「沸き上げ中ランプ」が点滅している | 温水器の異常です。 | 据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| 缶体保護弁排水口から水が出ている | 逃し弁、減圧弁または缶体保護弁の故障です。 | 逃し弁の点検を行なってください。（→15ページ）<br>逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁または缶体保護弁の故障が考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| **リモコン（別売）をご利用のお客さま** | | |
| わき増しの設定ができない | 電力制度の契約が「深夜電力」契約になっている | わき増しを利用できません。<br>電力制度の契約については電力会社へご相談ください。 |

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三洋電機　修理相談窓口」（→裏表紙）へご相談ください。

# こんなときは故障ではありません

**逃し弁からお湯が出ている**
本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているとき（リモコンをご利用の場合は、リモコンの表示部に「通電中」が表示されているとき）は、水をお湯にわき上げているので、体積が増えた分を逃し弁から排水しています。

**お湯が白く濁って見える**
水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

**お湯から油がでる、お湯が臭い**
初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

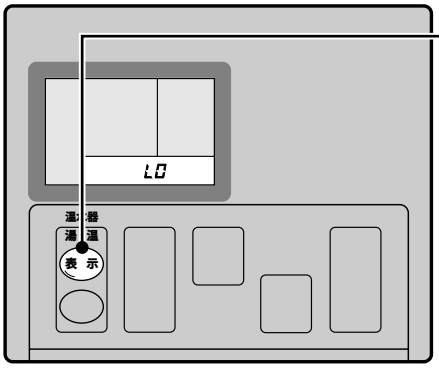
**設定したわき上げ湯温までわき上がらない**
以下のことを行うと、設定したわき上げ湯温までわき上がらない場合があります。
**①本体の「沸き上げ中ランプ」が点灯しているとき（リモコンをご利用の場合は、リモコンの表示部に「通電中」が表示されているとき）にお湯を使用した場合**
**②夜間時間帯にわき上げ湯温の設定をかえた場合（「低」→「高」）**
**③給水水温が低く、残湯量が少ない場合**
**●給水水温…10℃以下　●残湯量……20L未満**

**ヒーターにすぐに通電されない**
給水水温が高い場合や湯温設定が「低」のときは、夜間時間帯になってもすぐに通電しません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。（ピークシフト機能）

# お湯がたりなくなったときに温水器を診断する（自己診断モニター機能） リモコン（別売）をご利用のお客さま

お湯の量がたりなくなったとき（設定したわき上げ湯温までわき上げできなかったとき）は、次の操作で原因を調べることができます。

**リモコン**




必要な箇所を表示してあります。

**1** 温水器 湯 温 表示 **を5秒以上押す**

**表示例）L0**

約10秒間、「湯量不足の原因」が表示されます。（下表）

**2** **L0～L3が表示中に もう一度**
温水器 湯 温 表示 **を押す**

**表示例）5時間**

約10秒間、「昨夜のわき上げ時間」が表示されます。

| 表示 | 診断結果 |
|---|---|
| L0 | わき上げは完了しています。昼間時間帯にたくさんのお湯を使用したため、湯量不足になりました。<br>（据付工事直後や2時間以上の停電後は、わき上げが完了していないため表示されます。） |
| L1 | 給水水温が低く、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。 |
| L2 | 夜間時間帯にお湯を使用したため、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。 |
| L3 | 夜間時間帯にお湯を使用したため、または夜間時間帯に2時間以上停電したため、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。 |

時間帯別電灯でご契約のお客さまは、お湯が足りなくなった場合は「わき増し（→11ページ）」を利用してください。
深夜電力でご契約の場合は、わき増しが利用できません。時間帯別電灯に契約を変更すれば、わき増しを利用し、お湯の不足が解消できます。電力制度の契約については、据付工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談ください。

# リモコンにエラーが表示された場合の処置 リモコン（別売）をご利用のお客さま

| 表　示 | 原因（症状） | 処　　置 |
|---|---|---|
| U1 | 深夜電力が供給されていません。 | 電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてください。<br>「入」にしても、2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店（販売店）、または「三洋電機　修理相談窓口」（→裏表紙）へご連絡ください。 |
| E0、E1、E2、P6<br>P7、H1、H3 | 温水器の異常です。 | 電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）または「三洋電機　修理相談窓口」（→裏表紙）へご連絡ください。 |

※本体の「沸き上げ中ランプ」が点滅している場合は温水器の異常ですので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

# 仕様

| 形名 | | MH-373MK | MH-463MK |
|---|---|---|---|
| 適用電力制度 | | 深夜電力（8時間）／時間帯別電灯　通電制御型 | |
| 設置場所 | | 屋外（屋内設置可） | |
| タンク容量 | | 0.37m³（370L） | 0.46m³（460L） |
| 定格電圧 | 本体のみ | 単相200V | |
| | 本体＋別売リモコン | 単相200V＋単相100V（別売リモコン用） | |
| 定格消費電力 | 発熱体 | 4.4kW | 5.4kW |
| | 制御用 | 約 5W（通常時）／約 9W（最大時） | |
| 標準消費電力量※ | | 約34kWh/日 | 約42kWh/日 |
| 外形寸法 | 高さ | 1673mm | 1715mm |
| | 外径 | φ660mm | φ720mm |
| | 奥行き | 731mm | 791mm |
| 製品質量 | 本体 | 約48kg | 約54kg |
| | 満水時 | 約418kg | 約514kg |
| 最高使用圧力 | | 100kPa | |
| 安全装置 | | 漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁 | |
| リモコン〈別売〉品番：MHP-RC2 | | 縦 120mm　横 140mm　厚さ 22mm | |

※標準消費電力量は、わき上げ温度90℃、給水温度15℃の条件でタンク内全量を１回わき上げたときの値です。

# アフターサービスについて

## 1 保証書（別に添付しております）

●保証書は、必ずお買上げの販売店で「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買上げ日から2年間です。ただし､発熱体（ヒーター）は3年間、タンクは5年間です。

## 2 修理を依頼されるときは

●保証期間中の修理
保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理いたします。くわしくは保証書をごらんください。

●保証期間が過ぎたあとの修理
修理すれば使用できる場合には、お客さまのご要望により有料修理いたします。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。

## 3 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この電気温水器の補修用性能部品を製造打切り後、最低10年保有しています。
性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4 アフターサービスについてご不明の場合

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。
また、ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、もよりの当社「お客さまご相談窓口」（別紙または下記）にお問い合わせください。

**愛情点検**

**★長年ご使用の温水器の点検を!**

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

| こんな症状はありませんか | ご使用中止 |
|---|---|
| ●設置場所が濡れている。<br>●お湯が早くなくなる。<br>●時々漏電遮断器がはたらく。<br>●その他の異常や故障がある。 | 故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り温水器専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。 |

## お客さまご相談窓口

**◆総合相談窓口** 営業時間　月曜日～金曜日(祭日および当社の休日を除く)　9:00～12:00　13:00～17:00

- 北海道地区　☎札幌(011)290-1522
- 東北地区　☎仙台(022)714-6137
- 関東地区　☎東京(03)3815-1111
- 中部・北陸地区　☎名古屋(052)533-5245
- 近畿・四国地区　☎大阪(06)6994-9570
- 中国地区　☎広島(082)544-6036
- 九州・沖縄地区　☎福岡(092)263-7629

郵便・FAXでご相談される場合は

- 東京お客さまセンター　FAX(03)5803-3699　〒113-8434　東京都文京区本郷3-10-15
- 大阪お客さまセンター　FAX(06)6994-9510　〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5

**◆修理相談窓口** 営業時間　月曜日～土曜日(祭日および当社の休日を除く)　9:00～12:00　13:00～17:30

三洋電機サービス株式会社

| | | | |
|---|---|---|---|
| ●北海道支店 | ☎(011)831-9200 | 〒003-0013 | 札幌市白石区中央3条4-1-36 |
| ●東北支店 | ☎(022)382-5616 | 〒981-1225 | 宮城県名取市飯野坂3-4-8 |
| ●関東支店 | ☎(048)443-9111 | 〒335-0026 | 埼玉県戸田市新曽南3-16-3 |
| ●新潟サービスセンター | ☎(025)285-2431 | 〒950-0971 | 新潟市近江244 |
| ●中部支店 | ☎(0586)71-6960 | 〒491-0032 | 愛知県一宮市下沼町3-21-1 |
| ●近畿支店 | ☎(06)6993-2251 | 〒570-0086 | 大阪府守口市竹町4-13 |
| ●中国支店 | ☎(082)293-6511 | 〒733-0012 | 広島市西区中広町3-17-5 |
| ●四国サービスセンター | ☎(087)843-1840 | 〒761-0104 | 香川県高松市高松町2175-10 |
| ●九州支店 | ☎(092)924-3434 | 〒818-8534 | 福岡県筑紫野市紫6-1-1 |
| ●沖縄サービスセンター | ☎(098)878-3411 | 〒901-2133 | 浦添市城間4-35-5<br>沖縄三洋販売(株)サービス部 |

なお､「お客さまご相談窓口」の詳細は別紙の一覧表をごらんください。
住所･電話番号はご通知なしに変更することがありますのでご了承ください。

**お客さまメモ**

お買上げの際に記入しておいてください。
お問い合わせなどのときに便利です。

| 品番 | MH- |
|---|---|
| お買上げ年月日 | 年　月　日 |
| お買上げ販売店名 | |
| | 電話(　)　ー |


三洋電機株式会社

本社　〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
電話 大阪(06)6991-1181

事業開発本部　住設システム事業部
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
電話 大阪(06)6994-6563


T962Z182H02